

大磯町第3次行政経営プラン

実施計画（進行管理）書

（案）

大磯町

目次

I	実施計画の策定にあたって	・・・	●
1	大磯町第3次行政経営プラン	・・・	●
2	実施計画（進行管理）書の趣旨	・・・	●
3	実施計画の取組み体系	・・・	●
4	実施計画（進行管理）書の見直しと計画期間	・・・	●
II	財源確保の取組み	・・・	●
1	実施項目一覧表	・・・	●
2	実施計画（進行管理）表の見方	・・・	●
3	実施計画（進行管理）表	・・・	●
(1)	歳入確保の取組み	・・・	●
①	町税等収入の確保	・・・	●
②	受益者負担の適正化	・・・	●
③	公有財産の処分と活用	・・・	●
④	税外収入の確保	・・・	●
(2)	歳出削減の取組み	・・・	●
⑤	事務手法の見直しと効率化	・・・	●
⑥	補助金・交付金の見直し	・・・	●
⑦	公共施設のマネジメント	・・・	●
⑧	予算規模の抑制・縮小	・・・	●
(3)	事務の効率化の取組み	・・・	●
①	取組み趣旨	・・・	●
②	仕組みの構築	・・・	●
・	取組方針の設定	・・・	●
・	行政評価制度との連携の強化	・・・	●
・	職員提案制度との連携の強化	・・・	●
・	実施結果の共有	・・・	●
III	取組み結果	・・・	●
1	総括	・・・	●
2	令和8年度	・・・	●
3	令和9年度	・・・	●
4	令和10年度	・・・	●
5	令和11年度	・・・	●
6	令和12年度	・・・	●

I 実施計画の策定にあたって

1 大磯町第3次行政経営プラン

第3次行政経営プランは、『第2次行政経営プラン(令和3年度～令和7年度)』の姿を継承し、第五次総合計画後期基本計画に見込まれる財源不足を解消することで、総合計画の施策の実効性を確保することを目的としています。

また、移り変わりの激しい社会経済情勢の変化に柔軟に対応ができるよう取組みを進める必要があることから、職員の意識改革や働き方改革を図り、事務の効率化へとつなげるという視点を引き続き記載しています。

歳入確保と歳出削減に向けた取組みと併せて、事務の効率化へとつなげる仕組みを構築し、将来にわたって自立し、持続する行財政運営の実現をめざします。

2 実施計画（進行管理）書の趣旨

第3次行政経営プラン実施計画書は、計画の目標を達成するため、計画に位置付けた財源確保への取組みの体系に基づき、各取組みの目標効果額と、目標の達成に向けた5年間の年次別行動計画を定めるものです。

第3次行政経営プラン進行管理書は、実施計画の進捗状況を把握し、計画の着実な推進に向けて実施計画書の見直しを行うとともに、町民等への周知を図ることを目的に作成しているもので、各取組み及び各仕組みの目標効果額の達成状況や、行動計画の進捗度を示すものです。

本書は、実施計画書と進行管理書を一体的にまとめたものです。

★第3次行政経営プランにおける財源確保目標額（単位：千円）

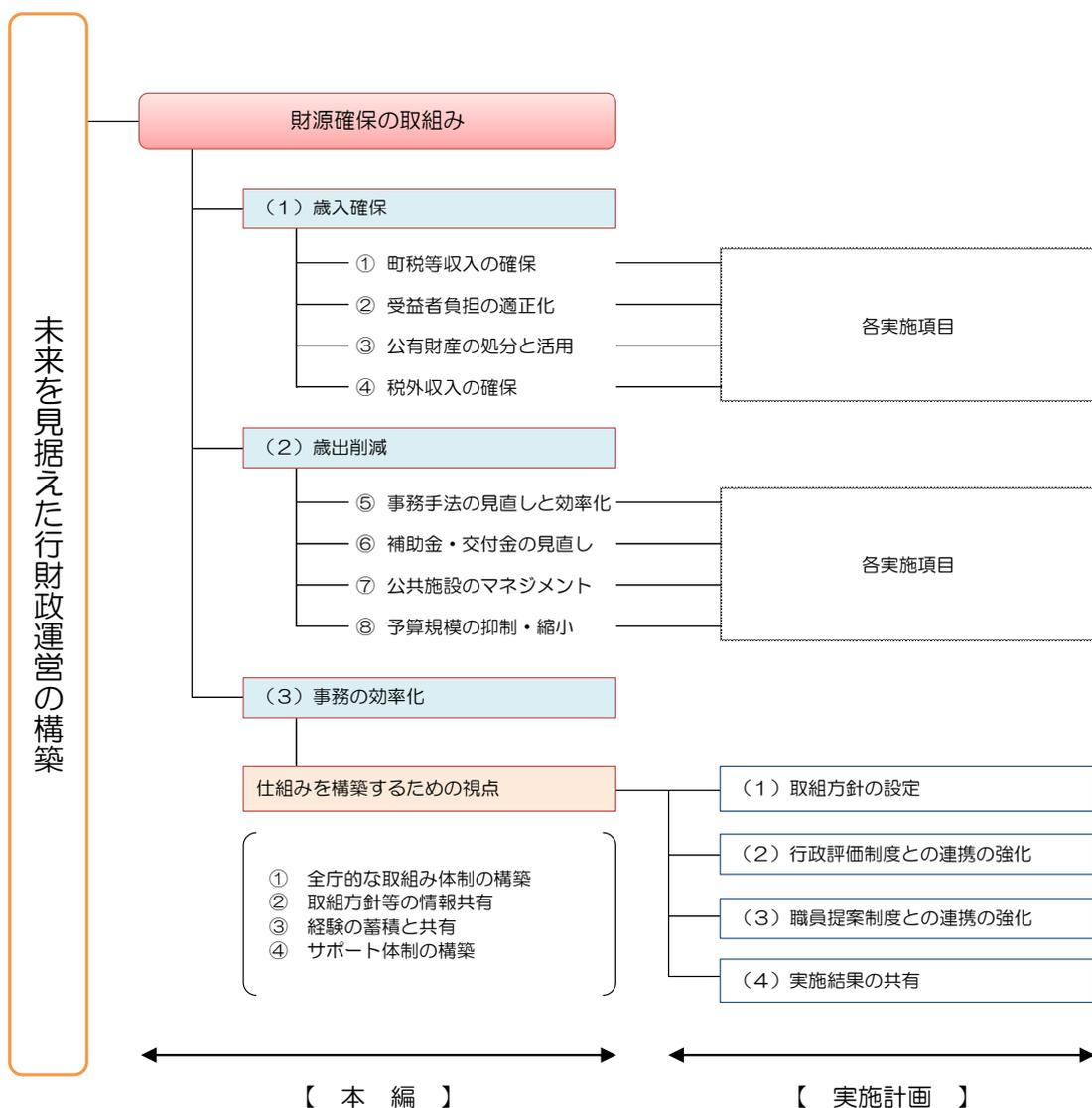
実施項目	年次別計画額					計画期間計
	R8	R9	R10	R11	R12	
A 歳入確保の取組み	350,546	472,491	503,591	623,386	672,771	2,622,785
① 町税等収入の確保	22,658	20,829	6,769	5,627	4,359	
② 受益者負担の適正化	5,618	4,618	4,618	4,618	4,618	
③ 公有財産の処分と活用	11,000	1,500	1,500	1,000	1,000	
④ 税外収入の確保	311,270	445,544	490,704	612,141	662,794	
B 歳出削減の取組み	197,344	189,144	178,658	167,158	156,058	888,362
① 事務手法の見直しと効率化	100,000	102,500	102,500	102,500	102,500	
② 補助金・交付金の見直し	0	0	1,314	1,314	1,314	
③ 公共施設のマネジメント	6,244	6,244	6,244	6,244	6,244	
④ 予算規模の抑制・縮小	91,100	80,400	68,600	57,100	46,000	
C 財源確保額計 (A+B)	547,890	661,635	682,249	790,544	828,829	3,511,147
D 財源確保目標額	874,000	830,000	761,000	493,000	540,000	3,498,000
E 実質収支 (C-D)	△ 326,110	△ 168,365	△ 78,751	297,544	288,829	13,147

3 実施計画の取組み体系

第3次行政経営プラン（令和8年度～令和12年度）では、財源確保という目的を十分に果たすことができませんでしたが、取組み効果額の内訳として町税等収入の上振れや基金からの繰入れによる割合が多く、実質的な財源確保額が少ない割合となっていることからさらなる自主財源の確保が必要です。

そのため、第2次行政経営プランは、財源確保を主な目的とした計画とし、引き続き財源確保に結び付くものだけでなく、業務改善や業務量削減への取組みを積極的に推進していくことで、行政改革への取組みに着手するための余裕を生み出すことをめざします。

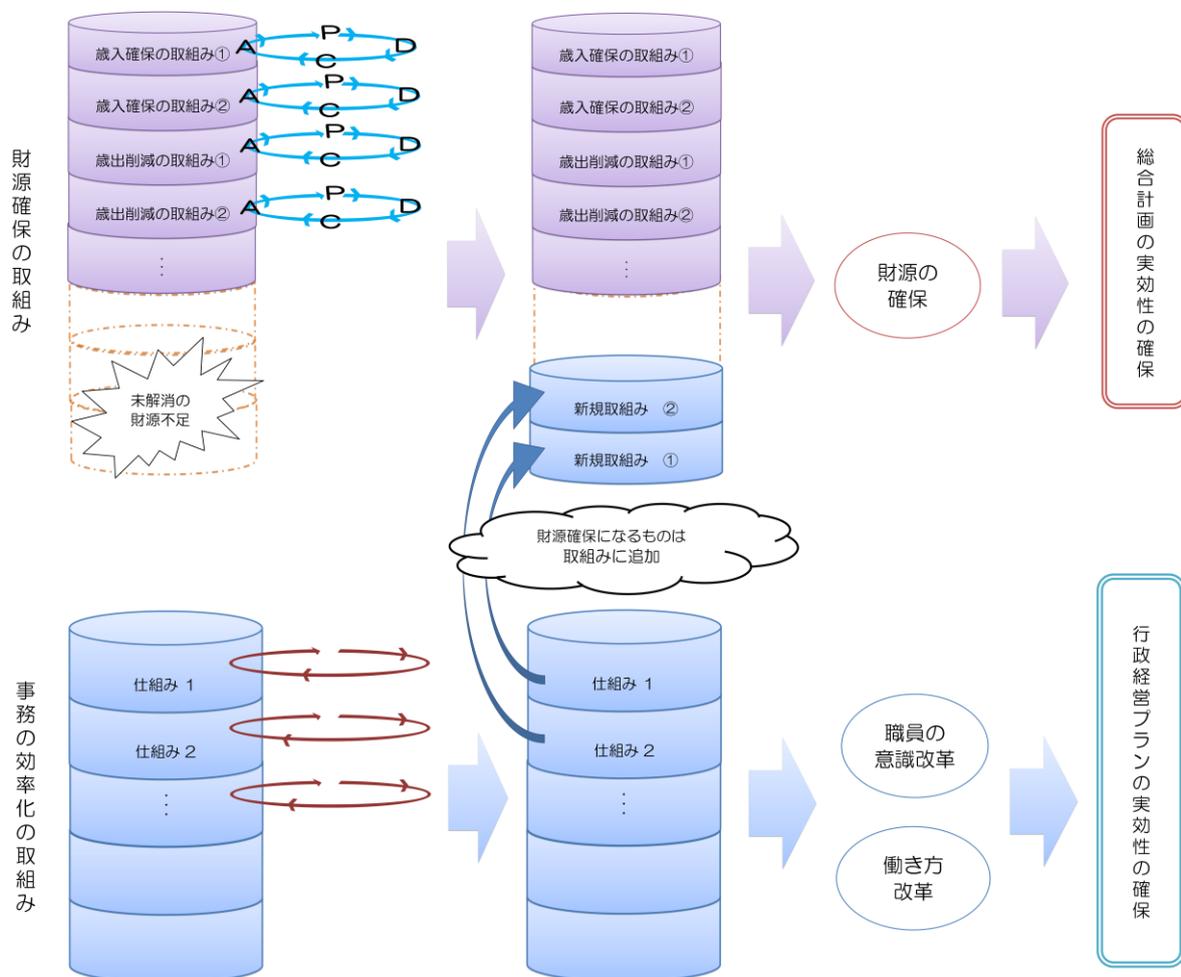
★第3次行政経営プラン体系図



★第3次行政経営プランの取組みの様子

財源確保の取組みでは、実施計画に位置づけられる各取組みのPDCAサイクルを回すことで財源の確保を図り、総合計画の実効性を確保します。

また、事務の効率化の取組みでは、実施計画に位置付けられる各仕組みを運用していくことで、職員の意識改革及び働き方改革の推進を図り、行政改革への取組意識の向上を図ります。この過程を通じて、事業費及び人件費の抑制や歳入増加への新たな取組みを引き出し、財源確保の取組みに位置づけることで、第3次行政経営プランの成果をより高めます。



4 実施計画（進行管理）書の見直しと計画期間

行政経営プラン実施計画を推進していく中で、本町の行財政運営に係る状況は、社会経済情勢や行政需要の変化、国による制度改正などにより、計画策定時から変化していくことが予測されます。こうした変化に的確かつ柔軟に対応するため、計画期間内の財政見通しを毎年度見直すことで、財源不足額を適切に把握し、財源確保の目標額や目標の達成に向けた行動計画を示す実施計画も年度ごとに見直しを行います。

実施計画の見直しに際しては、それまでの目標額の達成状況や行動計画の進捗度について進行管理を行い、進行状況に合わせた見直しを行います。

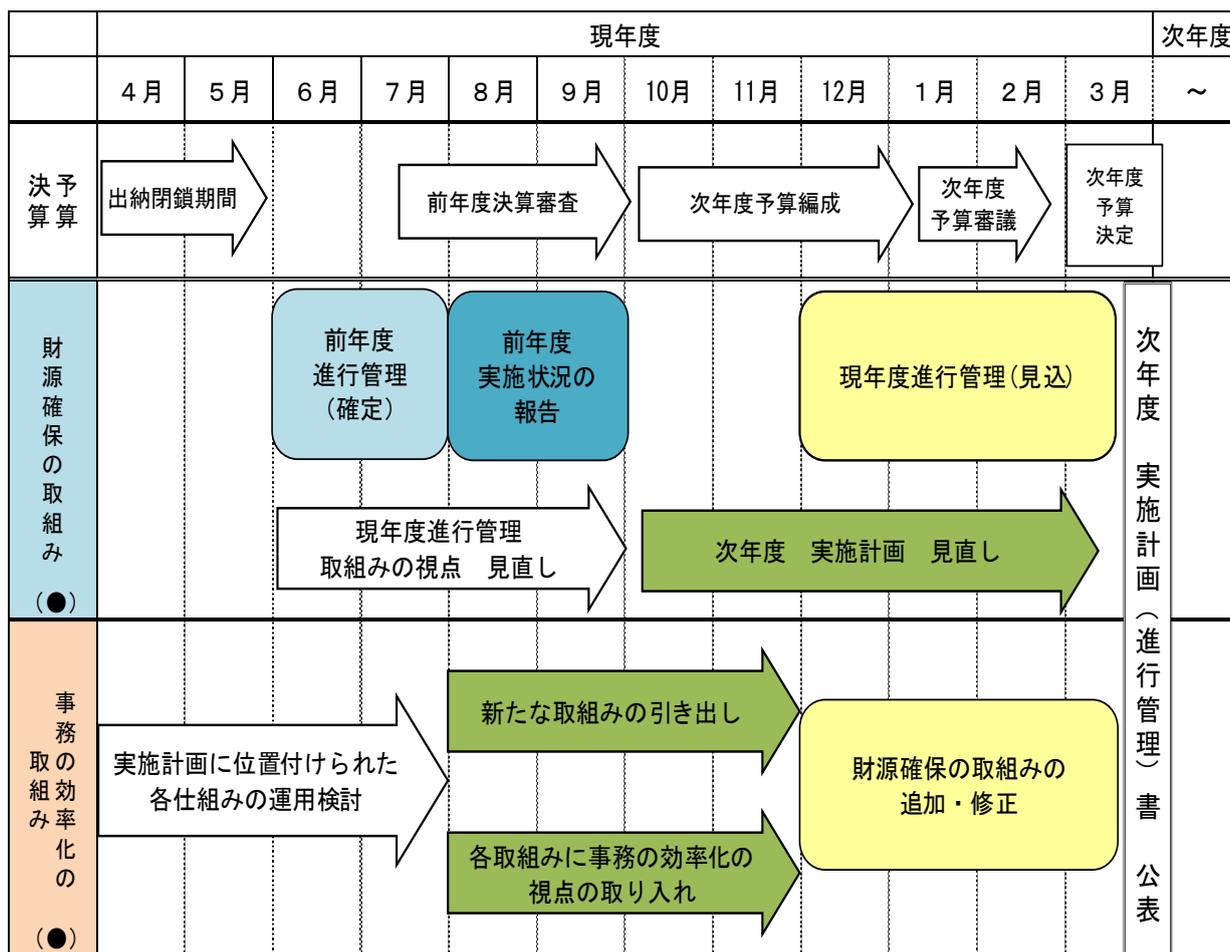
★実施計画（進行管理）書の対象期間

	対象期間				
	R 8年度	R 9年度	R10年度	R11年度	R12年度
R 8年度計画 【当初計画】	実施計画				
R 9年度計画 【R 8年度策定】	進行管理 (見込)	実施計画			
R10年度計画 【R 9年度策定】	進行管理 (確定)	進行管理 (見込)	実施計画		
R11年度計画 【R10年度策定】	進行管理 (確定)	進行管理 (見込)	進行管理 (見込)	実施計画	
R12年度計画 【R11年度策定】	進行管理 (確定)		進行管理 (見込)	進行管理 (見込)	実施計画

★年間マネジメントフロー

実施計画に位置づけられた取組みは下記のとおり、年間を通して取り組みます。

また、「事務の効率化の取組み」は、職員の意識改革を促し、業務改善や業務量の削減を図ることで、行政経営プランの取組みに注力できる体制を整える取組みです。各取組みを連携させ、新たな行政改革の取組みへの着手をめざします。



II 財源確保の取組み

1 実施項目一覧表

★実施項目一覧表の見方

No.	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
○-1	7	継の実施	△△課	□□
○-2	8	新の拡充	△△課	□□

※ 設定年度 : 実施計画（進行管理）書に掲載した年度を記載

※ 区分 継 . . . 令和7年度からの継続事業

新 . . . 当該年度からの新規事業

(1) 歳入確保の取組み

① 町税等収入の確保

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
①-1	7	継	町税収入の確保	税務課	●

② 受益者負担の適正化

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
②-1	7	継	使用料・手数料等の見直し	財政課	●

③ 公有財産の処分と活用

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
③-1	7	継	未利用町有地や不用品の売却・貸付	財政課	●

④ 税外収入の確保

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
④-1	7	継	ふるさと納税活用の推進	財政課	●
④-2	7	継	企業版ふるさと納税による収入の確保	政策課	●
④-3	7	継	寄附型クラウドファンディングによる収入の確保	政策課	●
④-4	7	継	HPや広報の広告料収入の確保	政策課	●
④-5	7	継	本庁舎案内板による広告料収入の確保	総務課	●
④-6	7	継	地方交付税の確保	財政課	●
④-7	7	継	国県支出金等の確保（自治基盤強化総合補助金の確保）	財政課	●
④-8	7	継	基金の柔軟な活用	財政課	●
④-9	8	新	大磯港駐車場収入の確保	産業観光課	●
④-10	8	新	指定管理者納付金制度の導入	都市計画課	●

(2) 歳出削減の取組み

⑤ 事務手法の見直しと効率化

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
⑤-1	7	継	DX化の推進	政策課	●

⑥ 補助金・交付金の見直し

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
⑥-1	7	継	補助金・交付金の全庁的な見直し	財政課	●

⑦ 公共施設のマネジメント

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
⑦-1	7	継	公共施設等総合管理計画等の推進	総務課	●

⑧ 予算規模の抑制・縮小

実施番号	設定年度	区分	実施項目名	担当課	ページ
⑧-1	7	継	国民健康保険税率の見直し	町民課	●
⑧-2	7	継	国民健康保険税の徴収強化	町民課	●
⑧-3	7	継	下水道使用料収入の確保・増進	河川・下水道課	●

2 実施計画（進行管理）表の見方

★実施計画（進行管理）表（●～●ページ）

財源確保効果額の考え方

第3次行政経営プランによる取組の実施前と実施後の比較により算出します。

【例1】 歳入確保の場合 取組前収入額：500千円 取組後収入額：700千円
→ 財源確保効果額（歳入増加効果額） 700千円 - 500千円 = 200千円

【例2】 歳出削減の場合 取組前事業費：500千円 取組後事業費：400千円
→ 財源確保効果額（歳出削減効果額） 500千円 - 400千円 = 100千円

主管課	新規継続区分	取組み年度	～	実施番号	
取組み名	該当する財源確保の取組みの名称				
実施項目名	当該実施項目の名称				
取組み内容	取組み事業の実施内容や、実施により得られる効果の概要				
効果額算出方法				区分	
目標額合計（千円）	計画期間における財源確保効果額の目標額（年度別目標額の総計）				
年次計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
年度目標額（千円）	計画期間における財源確保効果額の年度別目標額				
目標額設定根拠	計画期間における財源確保効果額の年度別目標額の算出根拠				
取組みの視点	目標額達成に向けた主として取り組むべき視点				
具体的な実施内容	取り組むべき視点に対し、年次別に行う内容				

目標額に対する実績			
	年度実績（千円）	評価	実績根拠
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
合計			

目標額に対する実績と、進捗度の評価

【評価基準】

- A 年度目標額より実績が多かった
- B 年度目標額のとおりの実績となった
- C 年度目標額を下回る結果となった

取組みの視点に対する結果			
	取組みの視点の実施状況	評価	具体的な実施結果
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			

取組みの視点に対する行動実績と、進捗度の評価

【評価基準】

- A 具体的な実施内容にプラスした取組みを実施できた
- B 具体的な実施内容のとおり実施した
- C 具体的な実施内容のとおり実施できなかった

翌年度に向けての改善事項	
令和8年度	
令和9年度	
令和10年度	
令和11年度	
令和12年度	

取組み視点に対する行動実績と進捗度に基づき、翌年度に向けての改善事項を記入

3 実施計画（進行管理）表

(1) 歳入確保の取組み

実施計画	主管課		新規継続 区分		取組み年度		~		実施番号	
	取組み名									
	実施項目名									
	取組み内容									
	効果額 算出方法							区分		
	目標額合計 (千円)	0								
	年次計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度				
	年度目標額 (千円)									
	目標額 設定根拠									
	取組みの視点									
	具体的な 実施内容									

目標額に対する実績			
	年度実績（千円）	評価	実績根拠
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
合計			

取組みの視点に対する結果			
	取組みの視点の実施状況	評価	具体的な実施結果
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			

翌年度に向けての改善事項	
令和8年度	
令和9年度	
令和10年度	
令和11年度	
令和12年度	

(3) 事務の効率化の取組み

① 取組み趣旨

複雑多様化する行政需要への対応や地方分権改革の進展などに起因する業務量の増加などにより、全庁的に行財政改革に向けた余裕及び視点が不足してきている傾向にあり、相対的に行財政改革への取組み意識が低下していると考えられます。

行財政改革に係る取組み意識の低下は、業務実施への意欲の減退を招くとともに、本プランの実施に影響を及ぼすという悪循環が懸念されることから、事務の効率化を図るための仕組みを導入し、行財政改革の取組みを着実に進めていくとともに、職員の意識改革を促すことで、業務量削減や業務改善、行政経営プランの取組みに注力できる体制を確保し、計画の実効性を確保していきます。

② 仕組みの構築

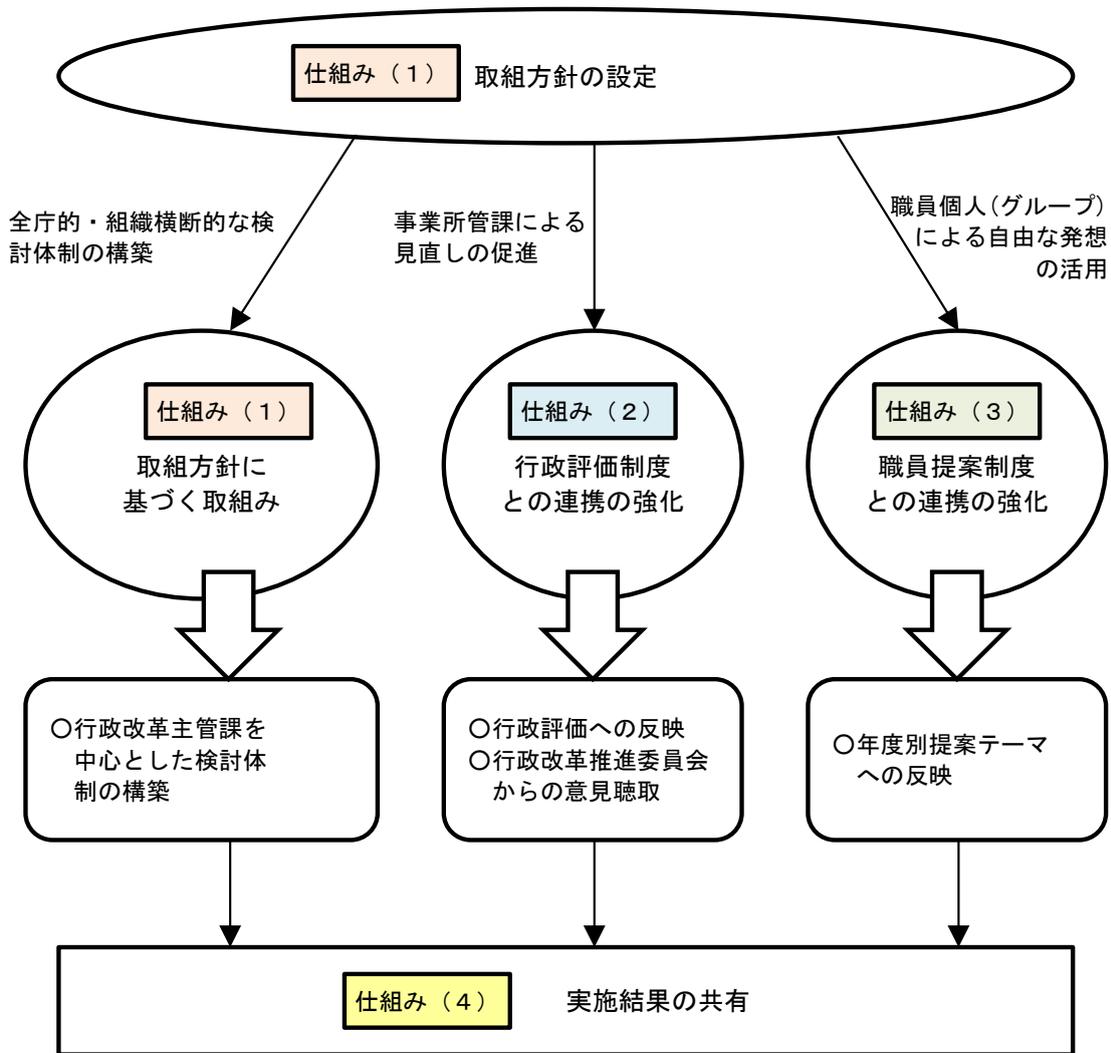
事務の効率化に向けた仕組みを構築するための4つ視点に基づき、仕組みを具体化します。

仕組み名		ページ
	取組方針の設定	●
	行政評価制度との連携の強化	●
	職員提案制度との連携の強化	●
	実施結果の共有	●

※ 取組みの趣旨と照らし合わせ、事務の効率化の取組みとして構築する各仕組みについて、財源確保目標額を事前に設定することは適切ではなく、各仕組みの成果や成果として表れなかったとしても、その実施過程を重視します。

※ 具体的な仕組みはこれらに限るものではなく、本プランの運用の中で見えてきた課題の解消や第3次行政経営プランをより推進することのできる仕組みを検討・検証し、新たな仕組みを積極的に導入し、実施計画内に位置づけます。

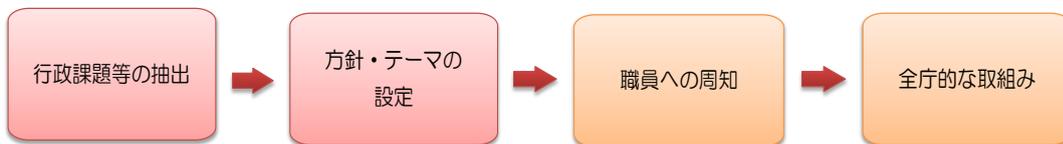
【 4つの仕組みの相関 】



・ 取組方針の設定

行財政改革に取り組むにあたり、担当課が個別に取組みを進めようとしても、総論では賛成されても各論の部分で理解が得られないことが考えられます。町としての姿勢を全庁的に共有し、発信することで、様々な改善への取組みを後押しします。

○ 取組みイメージ



・ 行政評価制度との連携の強化

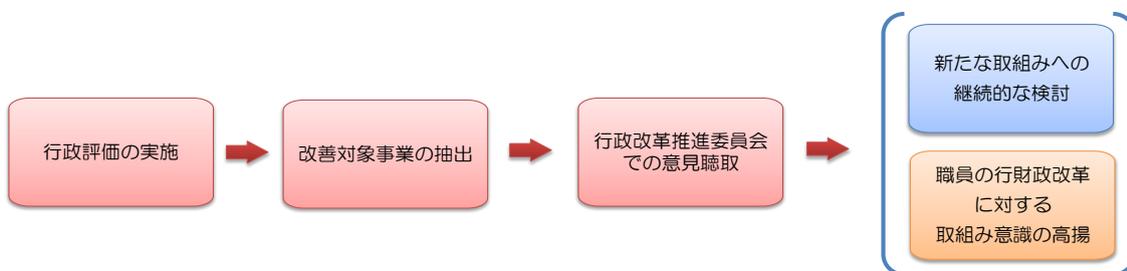
本町では、「検証と改善に基づく行財政運営」、「透明性の高い行財政運営」、「職員の意識改革」を目的とした行政評価制度を運用しており、全ての事務事業を対象に事務事業評価シートを作成し、所管課自ら自己評価を実施し、事業の改善に努めています。

財源確保の取組みと行政評価との連携を強化し、事務事業評価シートを活用し、第三者（行政改革推進委員会）の視点を取り入れながら、事務事業を点検することで、事務事業の見直しを進めます。

※ 行政評価とは

事業の目的や目標をできる限り数値化し、その達成状況等を可能な限り客観的に測定・評価（検証）することにより、適切な事業手法の選択や、資源（人材、物、財源など）の効果的な配分、コストダウンへの取組みなどを「PDCAマネジメントサイクル」により継続的に行うものです。

○ 取組みイメージ

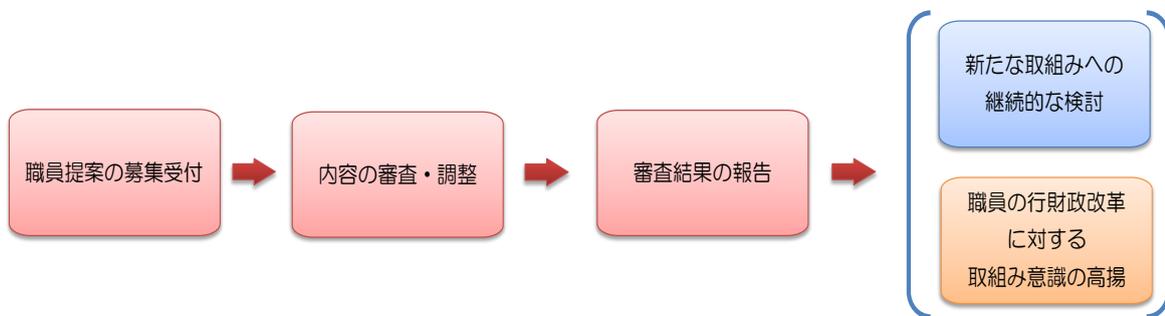


- 職員提案制度との連携の強化

本町では、職員の創造的思考及び改善意識の高揚を図り、もって行政サービスの向上と町行政の効率化に資することを目的とした職員提案制度を運用しています。

職員の柔軟な発想による事務の効率化につながる提案を募集し、優れた提案の実現を図ることで、職員の業務改善へのモチベーションを引き出すとともに、新たな発想による取組みの創出を推進します。

- 取組みイメージ



- 実施結果の共有



- 取組みイメージ



Ⅲ 取組み結果

1 総括

◆ 年次別効果額（実績）総括表

（単位：千円）

実施項目	年次別効果額（実績）					
	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
A 歳入確保の取組み						5か年計 0
① 町税等収入の確保						
② 受益者負担の適正化						
③ 公有財産の処分と活用						
④ 税外収入の確保						
B 歳出削減の取組み						5か年計 0
⑤ 事務手法の見直しと効率化						
⑥ 補助金・交付金の見直し						
⑦ 公共施設のマネジメント						
⑧ 予算規模の抑制・縮小						
C 財源確保の取組みによる 財源確保額計（A+B）	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
D 財源確保目標額	874,000	830,000	761,000	493,000	540,000	3,498,000
E 実質収支（C-D）	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

◆ 年次別目標額に対する総合評価総括表

総合評価	項目数					備考
	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
A評価						
B評価						
C評価						
合計	0	0	0	0	0	

◆ 年次別取組みの視点に対する総合評価総括表

総合評価	項目数					備考
	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
A評価						
B評価						
C評価						
合計	0	0	0	0	0	

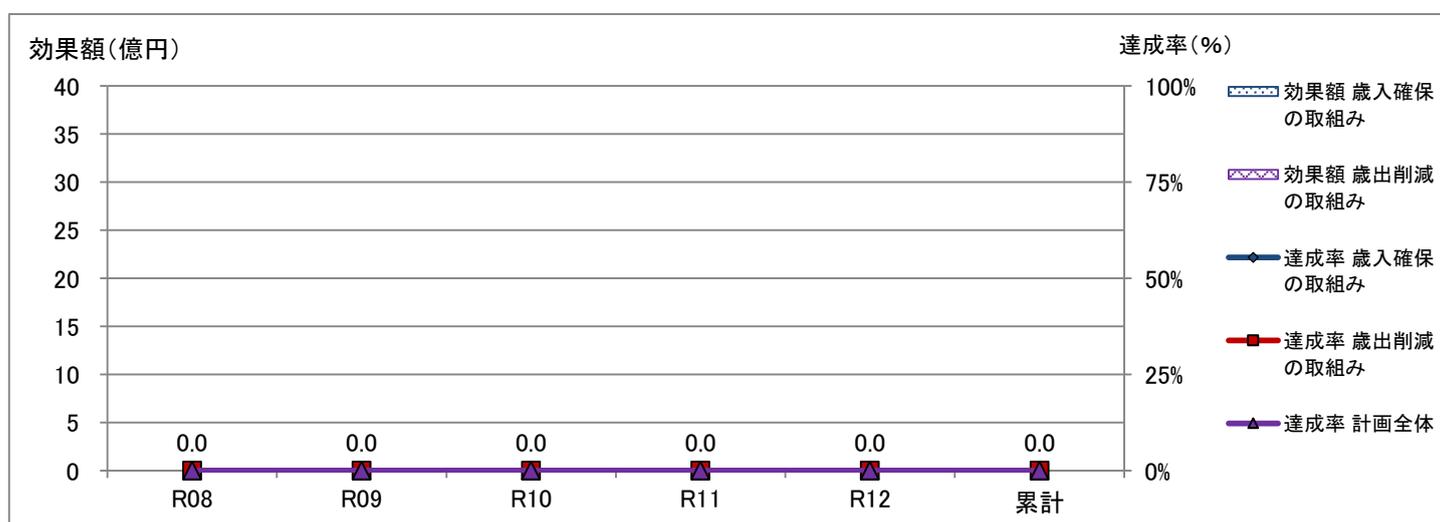
1 総括

◆ 財源確保の年次別目標達成状況

(単位：千円)

実施項目		R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	累計
目標額	A 歳入確保の取組み	350,546	472,491	503,591	623,386	672,771	2,622,785
	B 歳出削減の取組み	197,344	189,144	178,658	167,158	156,058	888,362
	C 計画全体 (A+B)	547,890	661,635	682,249	790,544	828,829	3,511,147
効果額	A 歳入確保の取組み						
	B 歳出削減の取組み						
	C 計画全体 (A+B)						0
達成率	A 歳入確保の取組み						
	B 歳出削減の取組み						
	C 計画全体 (A+B)						0.0%

◆ 財源確保の効果額と目標達成率の推移



2 令和8年度

◆ 財源確保の取組み

(単位：千円)

実施項目	財源確保の状況			目標額に対する評価			取組みの視点に対する評価				
	目標 (千円)	実績 (千円)	達成率 (%)	項目数	A	B	C	項目数	A	B	C
A 歳入確保の取組み	350,546	0	0.0%								
① 町税等収入の確保	22,658		0.0%								
② 受益者負担の適正化	5,618		0.0%								
③ 公有財産の処分と活用	11,000		0.0%								
④ 税外収入の確保	311,270		0.0%								
B 歳出削減の取組み	197,344	0	0.0%								
⑤ 事務手法の見直しと効率化	100,000		0.0%								
⑥ 補助金・交付金の見直し	0		*								
⑦ 公共施設のマネジメント	6,244		0.0%								
⑧ 予算規模の抑制・縮小	91,100		0.0%								
C 合計 (A+B)	547,890	0	0.0%								

◆ 事務の効率化の取組み

検討中

2 令和8年度

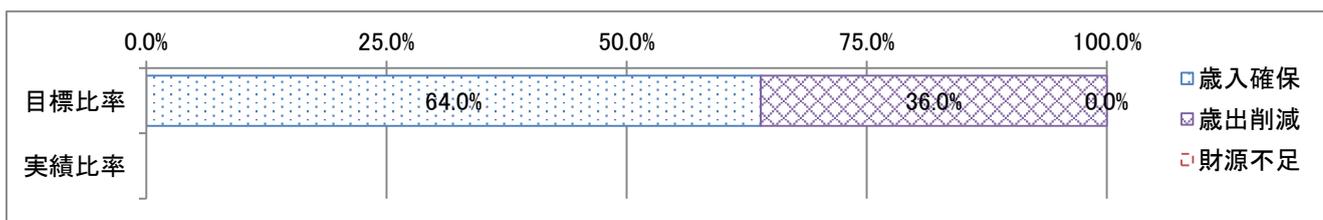
◆ まとめ

(単位：千円)

	D 目標額	実績額	E 実質収支
A 歳入確保の取組みによる財源確保額	350,546		
B 歳出削減の取組みによる財源確保額	197,344		
C 行政経営プランによる財源確保額	547,890		

◆ 年次別目標額（547,890千円）の達成状況

〔 歳入確保及び歳出削減の取組みによる年次別目標額の達成比率を示しています。
 目標が達成される場合は100%を超え、達成されない場合は不足割合が表示されます。 〕



大磯町第3次行政経営プラン
実施計画（進行管理）書

《 令和●年度 》

令和●年●月

神奈川県 大磯町政策総務部 政策課

大磯町政策総務部 財政課

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183

TEL0463(61)4100 内線205